

得たもの

Q1. 研修に参加して良かったと思うことは何ですか？

このプログラムを通じて多くの友人が出来たことです。この研修後も定期的に集まったり、ご飯を食べに行ったりと、いまだに関係性が続いているくらい仲良く過ごせています。思ったような大学生活を過ごせず、友人があまりいないような人には、このプログラムは最適であると思うのでぜひ参加してほしいと思いました。

英語で法学の授業を受講できたことも良かった点です。日本語に頼ることなく、自分の耳で英語を聞き取ろうとする環境はあまり多くは無いので、貴重な体験になりました。

イギリス国内を観光できたことも有意義でした。自由行動が可能な時間も多くあり、自分が興味を持った場所へ行けたことはいい思い出になりました。ロンドンはもちろん、マンチェスターやブライトン、エディンバラ等様々な場所へプログラムメンバーと一緒にいけるのも良かった点です。

Q2. 研修に参加したことで、どんな力がつきましたか？ どんな点が成長したと思いますか？

英語力はプログラム前と比較して少しは上達したと思います。自分から積極的に英語で発信しようとする気持ちにためらいがなくなり、間違ってもいいからとりあえず言ってみようと思えるようになった点にも成長を感じることができました。

Q3. 研修に参加したことで、今後の学習面と将来のキャリアに関し、どんな気づきがありましたか？

自分が法学を好きであるということが再確認できたという気づきがありました。イギリス法と日本法を比較する際に、自分の日本法に対する知識が不足していることに気が付きました。これにより、大学での授業を今まで以上に集中して自分のものにしていかないといけないと思うことができました。これは自分にとってとてもプラスになりました。

将来のキャリアに関しては、わかりません。ただ、自分が法学を好きであると再認識できたことで今までよりも将来に関して具体的に考えられるようになるかもしれないという気づきがありました。

Q4. 研修中の一番の思い出は何ですか？

メンバーのみんなと話をしたり、自由時間に一緒に行動したり、PA（プログラムアシスタントであるケンブリッジ大学の学生）やプログラムディレクターのジェームズ先生などと交流できたことが思い出に残っています。なんとなく過ごす普通の夏休みと違い、非常に濃度の高い夏休みを過ごすことができ、ほかの人が体験できないような一か月を過ごすことができた点も非常に良かったです。

Q5. 未来の参加者へのメッセージ（次年度以降の参加者に向けて、これだけは伝えたい！と思うこと

を先輩として、メッセージをお願いします。)

人と違うことをしたいと思ったり、ただただ過ごす夏休みではなく、有意義なものにしたいと思っている学生はこのプログラムは最適であると思います。英語の能力を伸ばすことができるだけでなく、交友関係も広がり、プログラム後の大学生活も非常に有意義なものにできるチャンスであると思います。長期の留学と違い、応募要件も厳しくないのも、参加するか悩んでいる人は、ぜひ応募してほしいです。イギリス法に興味があるという人でこのプログラムに参加したいと思っている1年生には、留学基礎講座 A を受講することでより深い理解をこのプログラムを通じて得ることができると思うのでお勧めしたいです。日本法とイギリス法を比較して考える場面があるので、授業をしっかりと聞いて、それぞれの違いや共通点について理解できるような状態で留学するとより効果的であるため、日々の学習にもそれなりに取り組んでおくとよいと思います。